



前進

第7号

7月19日発行

文責：濱田

育てたい力：共感力・探究力・協働力

◎芦北支援学校佐敷分教室の生徒さんがボランティアで来校。

7月6日（火）に芦北支援学校佐敷分教室の生徒4名と先生方が来校され、本校の花壇に花の苗植えなどをしてくださいました。

例年花の苗を購入させていただいており、今年も苗を学校へ持参いただきました。その際に花壇の様子をご覧になり「草取りも大変でしょう。」とのご配慮で、今回のボランティアが実現しました。

午前中、炎天下の作業でしたが、自分たちで育てた花の苗を植えたり草取りをしたり最後には水かけまで行ったりするなど、手際よく作業を進めてくださいました。黙々と作業を行う姿には、本当に頭が下がる思いでした。おかげで、花壇がさらに充実したものになりました。

今回はスケジュールの関係で、本校の子どもたちとの交流ができなかったのが残念でした。今後機会を設けられればと思います。



◎吉尾小学校の子どもたちとの交流（パート2）

7月12日（月）に、吉尾小学校の子どもたちと2回目の交流を実施しました。今回は5・6校時の2時間続きの授業に参加し、交流を深めました。水泳やドッジボー



ルの体育、感想交流を行った国語、グループで作成した工作など、多岐にわたった授業でした。吉尾小学校の子どもたちは、若干緊張の様子も見られましたが、授業で最初に発表したりドッジボールに笑顔で参加したりするなど、1回目よりも深まりのある交流ができたと思います。「1年後の姿を見据えて」の共通理解ができていることを実感しました。なお、パソコンを用いて遠隔での授業交流を行っている学年もあり、今後さらに交流の在り方を工夫していこうと思います。

◎みんなのきずなを深めよう。

6月は「心のきずなを深める月間」でした。以前の話になりますが、6月25日（金）に、人権集会を実施しました。アプリを使い、代表の子どもがそれぞれの人権宣言を発表の様子を、各学級でテレビ視聴しました。（発表時以外はマスクを着用しています。）それぞれの学級の人権宣言は廊下に掲示し、子どもたちが日頃から目にふれるようにしています。

また、「いじめについてのアンケート」を実施し、その後教育相談の時間を設定しました。

「友だちを大切にすること」は、例えば「授業中に友だちの発表をしっかりと聞く」「お互いに気持ちの良いあいさつをする」など、学校生活で人と関わり合う様々な場面で行うことができます。子どもたちのきずなが深まり、「安心・安全な学校」が進展するよう、今後も取組を進めていきます。



【校長室から】いよいよ1学期も終わろうとしています。校舎の改修もまもなく終了し、7月31日（土）には、教育委員会、保護者、その他ボランティアの皆様のお力をいただき引っ越し作業を行う予定です。2学期からは、昨年の被災前とほぼ同様の学校生活が送れることとなります。これまで多くの方々からご支援をいただけてきました。子どもたちも「自分たちは多くの人に支えてもらっている。」という実感を味わっていると思います。充実した教育活動と子どもたちの成長が一番のお礼になると信じ、職員一同で日々の教育にあたっていきます。今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。